

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年1月26日 (2017.1.26)

【公開番号】特開2016-88921(P2016-88921A)

【公開日】平成28年5月23日 (2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2014-229314(P2014-229314)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/05 (2006.01)

A 6 1 K 9/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 31/09 (2006.01)

A 6 1 P 17/18 (2006.01)

A 6 1 K 36/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/05

A 6 1 K 9/36

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 31/09

A 6 1 P 17/18

A 6 1 K 35/78 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月7日 (2016.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

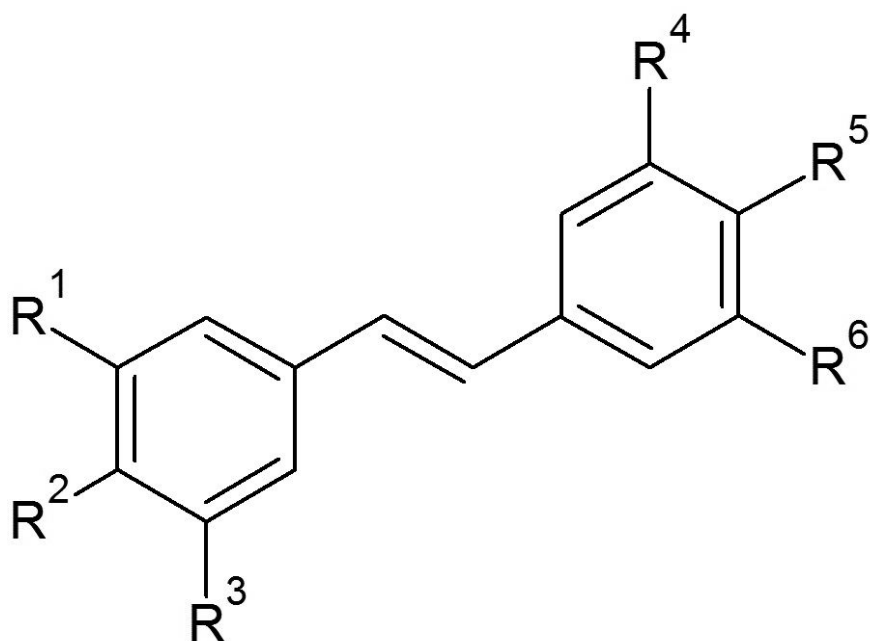
【請求項 1】

スチルベン骨格を有する化合物を含むインドキノキ抽出物を含有する素錠と、該素錠を被覆する被覆層からなり、該被覆層がヒドロキシプロピルメチルセルロースを含有することを特徴とする、フィルムコーティング錠。

【請求項 2】

前記スチルベン骨格を有する化合物が、下記一般式（1）で表される化合物であることを特徴とする、請求項 1 に記載の、フィルムコーティング錠（式中、R 1 ～ R 6 は、それぞれ独立して水素、ヒドロキシ基、又はアルコキシ基を表す）。

【化 1】

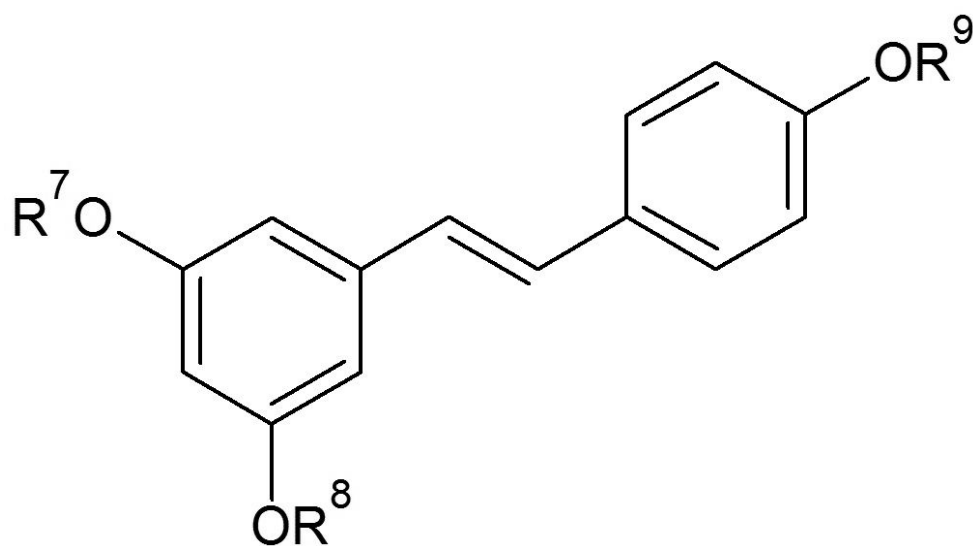


(1)

【請求項 3】

前記一般式 (1) で表される化合物が、下記一般式 (2) で表される化合物であることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の、フィルムコーティング剤（式中、R 7 ～ R 9 は、それぞれ独立して水素、又は炭素数 1 ～ 3 のアルキル基を表す）。

【化 2】

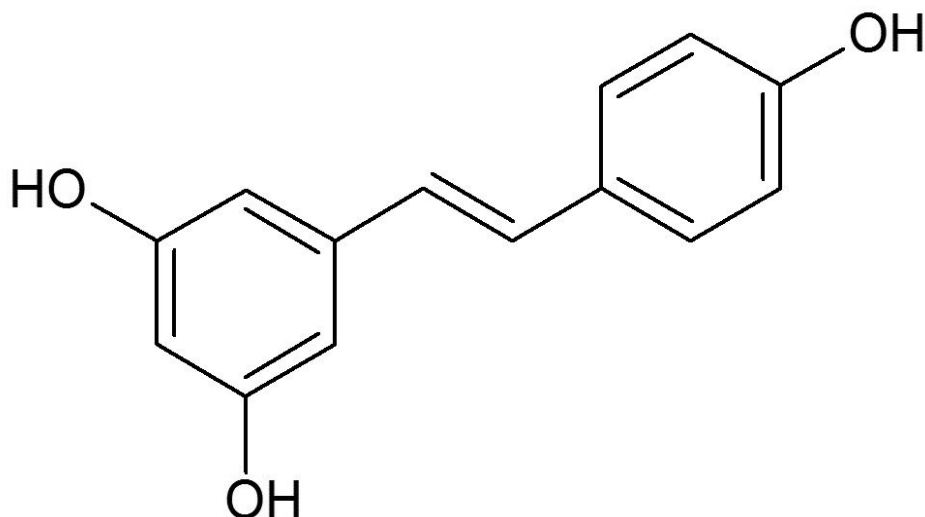


(2)

【請求項 4】

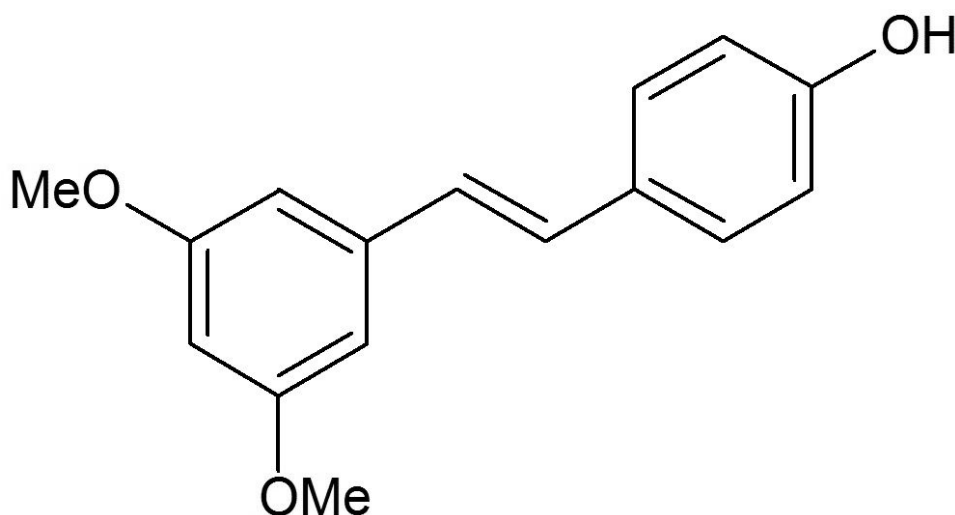
前記一般式 (2) で表される化合物がレスベラトロール及び／又はプテロスチルベンであることを特徴とする、請求項 3 に記載のフィルムコーティング剤。

【化 3】



(レスベラトロール)

【化 4】



(プテロスチルベン)

【請求項 5】

前記素錠が前記スチルベン骨格を有する化合物を 1 質量% 以上含有することを特徴とする、請求項 1～4 の何れか一項に記載のフィルムコーティング錠。

【請求項 6】

前記スチルベン骨格を有する化合物を 1～200 mg 含有し、錠径が 6～11 mm、錠厚が 2～7 mm であることを特徴とする、請求項 1～5 の何れか一項に記載のフィルムコーティング錠。

【請求項 7】

前記被覆層が着色料を含有することを特徴とする、請求項 1～6 の何れか一項に記載のフィルムコーティング錠。

【請求項 8】

スチルベン骨格を有する化合物を含むインドキノキ抽出物を含有する素錠と、該素錠を被覆する被覆層からなるフィルムコーティング錠の変色及び／又は変形を防止する方法であって、

前記素錠をヒドロキシプロピルメチルセルロースを含有する被覆層により被覆することを特徴とする方法。